

新明和、スペイン社と提携

組み電線装置補完

新明和工業はスペインのEMDEPグループ（エムデップ）と、ワイヤハーネス（組み電線）関連装置のビジネスで業務提携した。製造装置を強みとする新明和は、検査装置世界大手のエムデップと販売や生産で協業。製造から検査まで切れ目なく装置や技術サービスを提供し、販路も共有してワイヤハーネスメーカーへの訴求力を高める。また新明和が欧州生産を委託するなど生産面でも協力する。

欧・南米開拓

エムデップはスペインを査する装置で世界トップ・タラゴナ県に本社を置く非上場のオートナ系企業。自動車向けなどのワイヤハーネスについて、送電や通信が正しく機能するか検

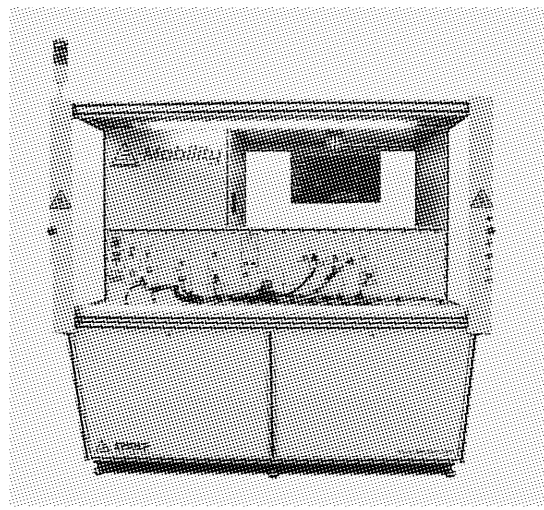
を切り、端子やゴム栓を取り付けて製造する自動電線処理機（ワイヤハーネス素材の製造装置）が強い。北米とアジアの推定シェアは60%という。日本と中

国・上海で自動電線処理機を製造する。新明和はエムデップから提携を直接打診され、合意した。両社は取り扱う装置が製造と検査で異なり、強みと

するエリアも違ふことから補完し合える」と判断した。双方が製品を融通し合い、販売ルートも共有する。新明和の日系の顧客は検査装置を内製化する事例が多いため、エムデップの検査装置を勧める。

エムデップの技術サービスも代行し、検査の内製にかかる顧客負担を軽減する。

同処理機は新明和の「産機・環境システムセグメント」における主力製品の1つ。同セグメントの2024年3月期売上高予想は475億円。24年度からの3カ年計画で同処理機の販売を23年度予想比で約20%伸ばす方針だ。



エムデップのワイヤハーネス検査装置

一方、新明和は電線

生産も相互に協力す

る。新明和は生産拠点がない欧州などで自動電線処理機用コンベヤーなど周辺装置の生産をエムデップに委託する。周辺装置を低コストかつ迅速に現地で調達できる。エムデップの販路や生産拠点を活用し、欧州や北アフリカ、南米などの市場を開拓する。

だ。